

(9) 中国



中国地域では、景気は緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

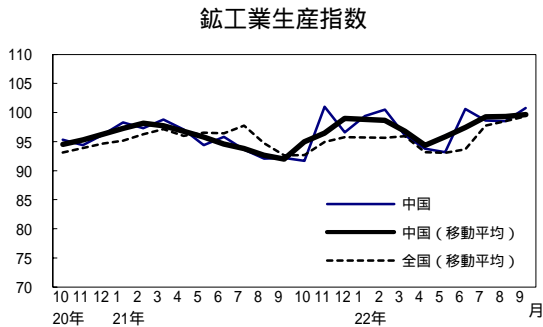
前回からの主要変更点

	前回(令和4年9月)	今回(令和4年11月)
景況判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している
鉱工業生産	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

7 - 9月期の鉱工業生産は、輸送機械や汎用・生産用・業務用機械が増加したこと等により、前期比3.5%増となった。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
輸送機械	23.2	13.1	20.4	1.9	2.0	8.8
汎用・生産用・業務用機械	13.3	8.7	5.0	1.9	6.9	5.6
化学	12.2	6.1	3.5	7.5	12.0	12.4
電子部品・デバイス	8.8	0.1	0.3	10.5	1.3	28.8
食料品・たばこ	6.8	1.2	2.4	1.4	3.2	7.7
鉱工業	100.0	2.8	3.5	2.0	0.1	2.3

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。中国の最新月は速報値。

2. 全国及び中国の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 7 - 9月期、9月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は緩やかに持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7 - 9月期は前期比0.8%減となった。月別にみると、7月は前月比0.7%増、8月は同1.5%減、9月は同0.8%減となった。

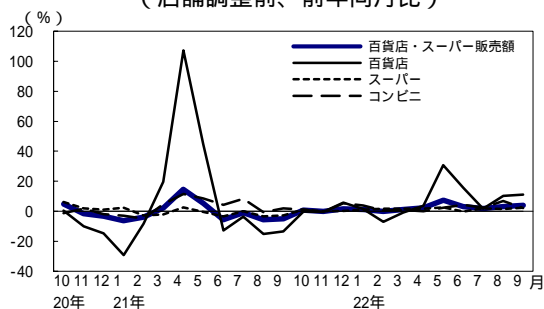
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、7 - 9月期は前年同期比2.9%増となった。月別にみると、7月は前年同月比1.9%増、8月は同3.0%増、9月は同4.0%増となった。

百貨店は、7 - 9月期は前年同期比6.9%増となった。

スーパーは、7 - 9月期は同1.9%増となった。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



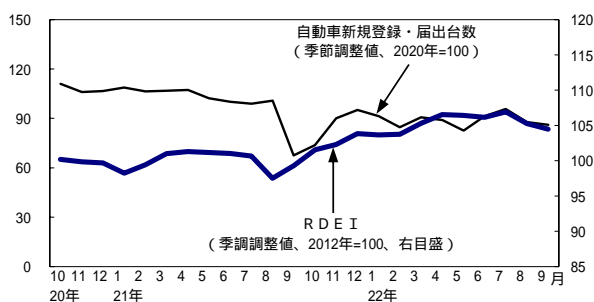
	2022年7-9月	2022年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.8	0.7	1.5	0.8
百貨店・スーパー(*2)	2.9	1.9	3.0	4.0
百貨店(*2)	6.9	1.7	10.2	11.0
スーパー(*2)	1.9	2.0	1.5	2.4
コンビニ(*2)	3.8	2.4	6.8	2.1
乗用車(*3)	3.2	5.2	11.4	29.0
(季節調整値)(*3)	2.5	4.7	8.3	1.9

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))

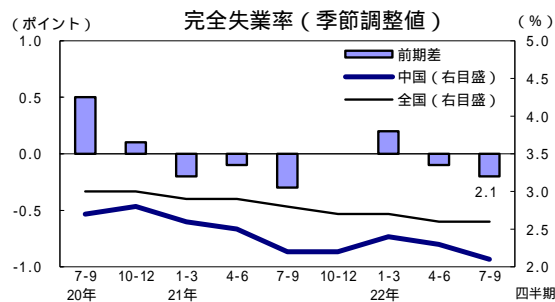
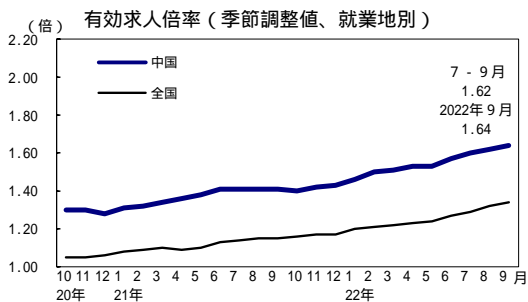
RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は持ち直している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 内閣府にて季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査（令和4年10月調査）景気判断理由の概要

9. 中国

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野		判断	判断の理由	
現状	家計 動向 関連	□	・定番商品の値上げの影響で、客は奉仕商品や特売商品を購入する傾向になっている（スーパー）。	
		○	・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着き、全国旅行支援の開始、自治体のプレミアム付食事券の発行などにより、ホテルにおいては個人利用の宿泊やレストランの来客数が顕著に増加している。宴会利用は食事を伴う懇親会等の受注もやや増えてきている（都市型ホテル）。	
		▲	・修理依頼が増加し、来客数にも波があるため、新規の販売につながらない（その他専門店〔時計〕）。	
	企業 動向 関連	□	・受注量が生産能力以上であるため、超過勤務で対応している（金属製品製造業）。	
		▲	・原料の価格高騰、円安、海外企業との買い負け等から仕入れの確保に苦慮し、売上、収益共に悪化している企業が目立っている（金融業）。	
		○	・新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢、円安等、様々な問題に直面し、値上げが相次ぐ中でも個人消費は堅調に推移している（化学工業）。	
	雇用 関連	□	・次年度の新卒採用者数を増やす企業が増加している。好況というよりも、今後の若年層の減少や定年退職者の大量発生に備えていること、就職氷河期の時代に長く採用していないことが影響している。また、年齢層の格差を埋めることが課題となっていることも理由である（求人情報誌製作会社）。	
		○	・年度替わりに向け、各企業は中途採用計画を練っている。また、年末年始の短期案件も増加している（民間職業紹介機関）。	
	その他の特徴 コメント			○：3か月前と比べると新型コロナウイルスの感染を気にしている客がかなり減少しているようで、最近では来客数が増えている。隣席や近くの客との距離を気にする客はほとんどいない。旅行客も増えてきており、特に10月は入国制限が緩和されたことでインバウンド客の来店がかなり増えている（一般レストラン）。 □：戸建て住宅の引き合いが低迷した状況が続いている。建築費高騰に加え、身の回りの物価が上昇していることが客の不安要素になっている（設計事務所）。
	先行き	家計 動向 関連	□	・新型コロナウイルス感染症の第8波が発生するという予測があり、それを危惧している客が少なからずいるため、景気は良くならない（商店街）。
○			・旅行や外出需要の増加に伴い、衣料品の需要も少し高まっていく（百貨店）。	
企業 動向 関連		□	・今後の導入に向けてのスケジュールを客からヒアリングする限りは、大きな変更は予定されていないため、取引量や引き合い量に変化はない（通信業）。	
		▲	・原材料価格の高騰により部品調達が難しくなり、生産に支障が発生している。また、新型コロナウイルス感染症関連の需要が頭打ちで、その反動もあって減産の見込みである（一般機械器具製造業）。	
雇用 関連		□	・卸売業、小売業、旅館業、飲食業では求人数が増加し、改善傾向がみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい業界は人が集まりにくい傾向がある（職業安定所）。	
その他の特徴 コメント			□：半導体不足による物の供給の減少や物価上昇が収まらない限り景気は変わらない（乗用車販売店）。 ▲：全国旅行支援が終われば一気に問合せが減少する。全国旅行支援の延長や予算の追加がないと、景気はやや悪くなる（観光型ホテル）。	

(D I) 現状・先行き判断D I（中国）の推移（季節調整値）

